

平成 28 年度 事業報告書

1. 高齢者の地域支え合い活動と福祉コミュニティづくりの推進のために

【決算額 30,817,059 円】

神戸市では、見守りをはじめとした生活支援と介護予防の基盤整備の推進を図るとともに、地域住民同士での支え合い活動ができるコミュニティづくりを支援することを目的として、地域支え合い活動推進事業を実施しており、地域支え合い活動を全市民的に展開し、支援の強化を図っている。このため、区社協には、「生活支援コーディネーター」、各あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）には、「地域支え合い推進員」が配置され、生活支援コーディネーターと地域支え合い推進員は、お互いに連携・協働を図りながら、地域支え合い活動の推進に取り組んだ。

あんしんすこやかセンター（11ヶ所、11圏域）

御影北部あんしんすこやかセンター	御影南部あんしんすこやかセンター
住吉北部あんしんすこやかセンター	住吉南部あんしんすこやかセンター
魚崎北部あんしんすこやかセンター	魚崎南部あんしんすこやかセンター
本山東部あんしんすこやかセンター	本山西部あんしんすこやかセンター
本山南部あんしんすこやかセンター	本庄あんしんすこやかセンター
六甲アイランドあんしんすこやかセンター	

（1）地域見守り活動

ひとりぐらし高齢者等が住みなれた地域で安心して暮らし続けられるように、見守り活動の充実を図るとともに、地域団体等が実施する活動とも連携して、福祉コミュニティづくりに取り組んだ。

①高齢者見守り調査

民生委員・同支援員の協力を得て、ひとりぐらし高齢者世帯（65歳以上）及び高齢者のみ世帯（75歳以上）の健康状態や緊急連絡先等を把握し、地域で安心して生活できる体制づくりを目指すため、地域見守りが必要な高齢者の調査を行った。

また75歳以上のひとりぐらし高齢者世帯で、世帯構成等に変更のあった方に対しては、事前の郵送による聞き取り意向確認を行わず、全員を訪問することにより調査を行った。

さらに、平成26年度から下記の条件に該当する高齢者に対し、再調査を実施した。

A.平成21～27年度の郵送調査において「見守り不要」と返信をして以来、再度調査対象に挙がることなく現在を迎えた、75歳以上のひとりぐらし高齢者世帯（全区で実施）

B.過去の郵送調査において「見守り不要」と返信をして以来、再度調査対象に挙がることなく5年が経過した80歳以上の高齢者のみ世帯（東灘区のみ実施）

調査対象	郵送数	訪問数
ひとりぐらし高齢者世帯 65歳～74歳	1,037世帯	371世帯
ひとりぐらし高齢者世帯 75歳以上		626世帯
高齢者世帯（75歳以上）	572世帯	293世帯
再調査ひとりぐらし高齢者世帯	-	76世帯
再調査高齢者のみ世帯	-	72世帯

東灘区内の地域見守り対象高齢者実態把握数（平成29年3月末現在）

ひとりぐらし高齢者世帯（65歳以上）	13,406世帯
高齢者のみ世帯（75歳以上）	3,194世帯

②ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の支援

民生委員・児童委員を中心に地域に根ざした見守り体制づくりを進めていく一環として、友愛訪問グループの自主的な活動を支援した。

ア) 友愛訪問活動状況

グループ数	友愛訪問ボランティア数	訪問対象高齢者数	安否確認(延べ数)	活動内容		
				対面	相談	その他
57	253	750	37,937	20,464	117	356

イ) 友愛訪問グループ活動助成 54グループ

③見守り推進員（高齢世帯生活援助員）派遣事業

高齢化率の高い大規模災害復興公営住宅に設置されているあんしんすこやかルームに、見守り推進員（高齢世帯生活援助員）を配置し、戸別訪問や対象者への生活相談・指導、安否確認等の生活援助を行い、介護予防の推進とコミュニティ形成を支援した。

ルーム名	開設年月	住宅名	相談件数(訪問含む)
中野ひろば	H18.12	市営本山第三住宅	1,554
ふかえ	H21.3	市営深江南住宅	3,528
ハーモニー・六アイ	H21.7	市営ウエストコート9番街	3,389
あ〜もんど	H22.3	市営魚崎南第二住宅 市営魚崎南第三住宅 市営魚崎南第四住宅	1,758
どんぐり	H23.1	県営住吉台鉄筋住宅	1,558

④小地域支え合い連絡会の開催

民生委員・同支援員、友愛訪問ボランティア、あんしんすこやかセンター地域支え

合い推進員等、地域の支援者が活動するうえで、地域資源や地域の課題を区社協と共通認識を持つことが重要であるため、概ね3~4ヶ月に1回程度会合し、ひとりぐらし高齢者等見守りが必要な世帯への支援方法等についてや、その他情報共有を行うとともに啓発及び地域への情報提供についての相談等を行い地域支え合い活動等の連携を図った。16地区 48回開催

⑤コミュニティサポートグループ育成支援事業

あんしんすこやかセンター地域支え合い推進員を中心に、住民相互の見守り、支え合える地域づくりを推進することを目的に地域住民が主体となり、地域貢献活動やコミュニティづくり、介護予防に資する活動を行う住民ボランティアグループの結成促進及び育成支援を行った。

(ふれあい喫茶、映画会、ウォーキング、歌声喫茶等)

31事業 256回実施 延べ3,798名参加

⑥テレホンサポート「東灘ほのぼのダイヤル」事業(平成29年3月現在)

ア) 開設日 週3日(毎週火・水・木)

イ) 対象者 32名 ボランティア 14名

(2)生活支援体制整備事業

超高齢化社会の進展に伴い、見守りや支援が必要な高齢者等の増加、地域における孤立などの課題が顕著で、今後さらに深刻化する可能性があるため、多様な主体による多様なサービスの提供により、高齢者を地域で支えていく地域づくりを行う必要がある。地域で支援を要する人に地域で支え合う地域づくりを行う体制づくりを区社協中心に地域団体や地域支え合い推進員等と連携し、体制整備を図る。

①協議体の運営

区内のNPOや地縁団体、専門職や事業者の代表者等が集まり協議する場(協議体)を開催した。

第1回 協議体会議

「平成27年度の振り返りと平成28年度の取り組みについて」

平成28年7月14日(木) 13:30~16:00 東灘区役所4階大会議室

第2回 協議体会議「各部会の進捗状況と総合事業について」

平成29年3月15日(水) 10:00~12:30 東灘区役所4階大会議室

②地域支え合い推進員連絡会の開催

地域の支援者が連携をもって活動するうえで、地域資源や地域の課題を区社協と共通認識することが重要であるため、月1回の連絡会をし、ひとりぐらし高齢者等見守りが必要な世帯への支援方法等についてや、その他情報共有を行うとともに啓発及び地域への情報提供についての相談等を行い、地域支え合い活動等の連携を図った。

第3木曜(年12回) 9:00~12:00 東灘区役所5階52会議室

③生活支援・介護予防サポーターの支援

神戸市が主催する「生活支援・介護予防サポーター養成研修」を受講したサポーターに対し、支援を行った。

・フォローアップ研修「地域づくりミーティング」

開催日時 平成28年8月18日(木) 10:00~12:00

場所 東灘区役所 4 階大会議室

- ・サポーター登録情報の更新
- ・地域支え合い推進員とサポーターの顔合わせや、サポーターが希望する内容の活動紹介等、活動に関する相談

(3) 地域の福祉コミュニティづくり

①ふれあい給食会活動の支援

閉じこもりがちなひとりぐらし高齢者に対して、地域コミュニティへの参加の機会を提供し、孤独感を解消するとともに、相互のふれあいを深めることを目的とする給食会活動を実施する地域団体に対し、経費の一部を助成し活動を促進した。

ア) 実施団体 18 団体、実施回数 259 回

イ) 参加高齢者 延べ 13,769 名

ウ) 活動ボランティア 延べ 3,317 名

②高齢者への手作りカレンダー配布及び地域交流

市立小学校・児童館及びふれあいのまちづくり協議会等地域団体や施設の協力を得て、小学生が手作りカレンダーを作成し、これを高齢者に手渡すための交流の催しを行い、地域の高齢者を励ますとともに、子ども達の高齢者に対する理解を深めた。区内 14 小学校・11 児童館・4 学童保育コーナーで、計 3,400 部を作成した。

③東灘地域ケアネットワーク会議の運営支援

ア) ケアネットカフェ 年間 4 回実施

イ) 第 20 回交流集会 (平成 29 年 2 月 12 日)

「地域での居場所づくり」

講師：松澤 賢治 氏

講演「住み慣れた場所で安心して暮らすために」

グループワーク あんすこセンター圏域ごとに「居場所マップ」を作成

(4) その他の福祉推進事業

①車いすバンク (車いす貸出し事業)

- | | | | |
|-------------------|-------|---------|-------|
| ・ 民生委員児童委員宅 | 14 ヶ所 | 貸出件数 延べ | 92 件 |
| ・ 地域福祉センター及び自治会館等 | 21 ヶ所 | 貸出件数 延べ | 174 件 |
| ・ 事務局(区役所内) | | 貸出件数 延べ | 119 件 |

②成年後見利用手続き「東灘相談室」の運営支援

毎月第 2・4 金曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

開設回数 24 回 相談件数 21 件

2. 児童の健全育成・子育て支援のために 【決算額 107,848,887 円】

民生委員児童委員協議会、青少年育成協議会、婦人会、自治会をはじめ地域の諸団体の協力を得て、子ども達を取り巻く環境の変化に適切に対応し、子どもたちを地域とともに健全に守り育てていくために、事業を推進・実施した。

(1) 児童館の管理運営

①市社協児童館、学童保育コーナーの運営・管理

28年度は、区内に11児童館、4学童保育コーナーがあり、そのうち神戸市社会福祉協議会が指定管理者となっている7児童館・3学童保育コーナーの管理運営を行った。

(利用状況)

児童館・コーナー名	利用人数	1日平均利用人数 (開館日数293日)	放課後児童クラブ ^ア (学童保育)在籍者数(H28.3月末)
北青木	21,258	73.0	63
本山南学童保育コーナー	9,402	32.3	54
魚崎	39,490	135.7	102
魚崎コーナー	6,353	21.8	29
田中	21,619	74.2	66
浜御影	18,223	62.6	52
住之江	18,615	63.9	43
向洋	34,633	119.0	99
六甲アイランド学童保育コーナー	7,078	24.3	42
本山東	19,433	66.7	69
社協運営館小計	196,104	67.3	619
本山	24,827	85.3	106
本庄	45,347	155.8	121
本庄学童保育コーナー	20,301	69.7	96
渦森台	20,403	70.1	73
御影北	41,163	141.4	91
社協運営以外の館小計	152,041	104.4	487
合計	348,145	79.7	1106

◇各児童館は、地域に開かれた運営を図るため、地域や関係機関の代表等により構成される運営委員会を開催した。(平成28年6月15日～7月12日)

②区内児童館、学童保育コーナーの運営支援

区内全児童館(11児童館)学童保育コーナー(4コーナー)の運営支援を行った。

ア) 児童館の巡回相談・支援

区社協の子育てコーディネーターが、区内児童館、学童保育コーナーへ出向き巡回相談、安全管理・環境整備などへの助言、運営支援を行った。

(新任指導員実践指導 4 回、親子館事業巡回 11 回、放課後児童クラブ事業巡回 15 回、児童館事業巡回 10 回、児童館事務巡回 10 回 その他個別課題への対応・支援の巡回 70 回 合計 120 回)

イ) 児童館職員の研修会開催

児童館職員の資質向上のため、指導員・放課後児童支援員等(学童保育指導員)を対象にした研修会を区社協が主催し、開催した。また、28 年度は、区内児童館長、コーナー長を中心とした職員対象の研修も実施した。

テーマ:「安全対策(衛生管理・アレルギー等)について」

「放課後児童健全育成事業運営指針・運営基準について」

「アレルギー疾患児童の対応・エピペン研修」(館長、コーナー長対象)

(指導員研修会 3 回、放課後児童支援員研修会 2 回 他 1 回合計 6 回)

(2) 児童館を活用した地域子育て支援事業

①子ども安全見守り活動事業「アイランドウォーク」

子どもの被害防止能力や危険回避能力の向上を目指して、実施した。

開催日 平成 28 年 10 月 3 日(月) 参加人数 24 名

場 所 六甲アイランド学童保育コーナーおよび周辺地域

②地域で子育て元気アップ事業

住民が主体となり、地域の人材を活かした取り組みで、地域ぐるみの子育て力のアップを目指す。毎年 1 児童館が実施、28 年度は北青木児童館が実行委員会を組織し、「地域の中学生といっしょに〇〇しよう!」を実施した。

内 容①住吉川で生き物調査②段ボールで造形遊び③ミニコンサート

開催日①平成 28 年 8 月 3 日(水)、8 月 4 日(木)、8 月 10 日(水)

参加人数 ①78 名②65 名③91 名 計 234 名

③子育てコミュニティ育成事業(7 地域)

児童館の休館日にその施設を活用して、地域が行事や自由遊びの場を提供し、児童の健全育成を行う「子育てコミュニティ育成事業(日曜開放)」を支援した。

開催延べ 64 回、大人 延べ 3,666 名、子ども延べ 5,396 名 計 9,062 名

④拠点児童館(魚崎児童館)の支援

平成 28 年度から障がい児と保護者が気軽に立ち寄れる居場所として「J-café」を魚崎児童館で週 1 回実施し、区社協はその支援を行った。また、講演会「子どもの発達と遊び」を共同開催した。

(3) 地域の子育て支援事業

①第 2 回チャイルドフェスティバルの開催

東灘区内の子育て支援者、ボランティア、児童とその保護者が様々な遊びや催しを体験し、楽しい時間を共に過ごすことで児童の健全育成、保護者の子育て支援につなげていく機会を提供した。

開催日 平成 28 年 9 月 3 日(土) 場 所 甲南大学岡本キャンパス

参加人数 1083 名 協力 甲南大学

参加団体 区内児童館、区内保育所、ボランティア団体 他

②子ども子育てサポート事業(子育て支援セミナー「ほっとちゃん」)

地域子育て応援プラザ、子ども家庭支援課と連携し、乳児の母親を対象に子育て支援セミナー「ほっとちゃん」を実施した。

場所 区役所機能回復訓練室、本山南学童保育コーナー

内容 親子ふれあい遊び、ミニ講座(離乳食、あかちゃん絵本の選び方 など)

実施 16回 160人

③ファミリーサポートセンター協力会員養成講習会の開催

神戸市ファミリーサポートセンターに協力し、協力会員になるための養成講習会を東灘区で出張開催し、地域の子育て支援体制の強化を図った。

開催日 平成28年8月9日～10日(2日間) 場所 東灘区役所

(4) その他の子育て支援

①区内関係機関との連携

区内の子育て支援に関わる団体・機関により構成された「東灘子育てサポートネットワーク会議」や「主任児童委員連絡会」に参加し、情報交換や支援事業に取り組んだ。

②子育て支援等に役立つ遊具や用具の貸出

エプロンシアター・的当てゲーム等 13件

③中藤忠夫児童福祉基金の運営

助成金支給要綱に基づき、以下の助成を行った。

- ・区内児童関連福祉施設助成金 14件 780,000円
- ・就職支度助成金 2件 200,000円
- ・専門学校等進学支度金 1件 300,000円

3. 障がいのある人たちを支援するために 【決算額 300,000円】

障がいのある人たちが、地域で安心して生活を送ることができるよう、地域団体及び施設等との連携を進め支援した。

(1) 障がい者福祉団体等への支援

視力障害者福祉協会、肢体障害者福祉協会、重度心身障害児(者)父母の会、聴力言語障害者福祉協会、神戸市手をつなぐ育成会への支援のほか、東灘福祉五団体の作品展に助成した。

(2) 東灘区自立支援協議会への参画

(運営委員会、ネットワーク会議、事務局会議、こども部会事務局担当、しごと部会、くらし部会への参画)

- ・運営委員会 3回
- ・ネットワーク会議 3回
- ・事務局会議 12回
- ・こども部会 14回
- ・しごと部会 12回
- ・くらし部会 12回

(3) 「なかよしキッズ」(障がい児と保護者の居場所づくり)

①保護者交流会

障がいのある子どもを持つ保護者の交流、情報交換の場を提供する目的で開催した。

場所 東灘区役所 グループ活動室

参加人数 延べ 36 名 (10 回開催)

②元気アップジム

障がいのある子どもと保護者が思い切り体を動かして遊ぶ機会を提供した。

開催日 平成 28 年 12 月 26 日 (月) 場所 東灘区役所健康増進室

参加人数 41 名

指導 神戸市社会福祉協議会障害者スポーツ振興センター

協力 神戸国際大学リハビリテーション学科 D P L S

③チャレンジ！おかいもの

子育てコーディネーターと地域福祉ネットワークが連携し、障がいのある子どもの自立を支援する目的で、実際の買い物を体験したり、買い物した物を使って簡単な調理を行う場の提供をおこなった。また、民生委員児童委員をはじめとする地域の子育て支援者と活動を共にし、交流を図った。

開催日 平成 28 年 8 月 19 日 (金)

場所 コープこうべシア 東灘区役所栄養指導室 参加人数 11 名

協力 民生委員児童委員協議会 コープシア 他

④親子であそぼう！

頌栄短期大学と連携し、発達の良い気になる 2～3 歳児とその保護者を対象に、発達を促す運動遊びや、学生の考えたプログラム (手遊びや絵本の読み聞かせ等) を親子で楽しんだ。

開催日 平成 29 年 7 月 30 日 (土)、8 月 20 日 (土)、9 月 24 日 (土)

場所 頌栄短期大学 参加人数 21 名

(4) 元気アップ運動会

東灘福祉五団体、東灘区自立支援協議会、東灘区社会福祉協議会、及び魚崎町協議会ははじめとする魚崎地区関係団体等で組織する実行委員会が主催となり、スポーツを通じて障がいと子どもから高齢者までの地域住民が交流した。

開催日 平成 28 年 9 月 22 日 (木・祝)

場所 魚崎小学校体育館

参加者 221 人 (障がい者等 110 人 [介助者含む]、スタッフ 111 人)

4. 地域福祉の推進のために 【決算額 18,410,882 円】

すべての区民が住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるまちをつくるため、地域での赤い羽根共同募金や歳末たすけあい募金運動に取り組み、福祉団体等への支援助成を行ったほか、生活福祉資金貸付など地域住民の福祉向上に努めた。

また、地域福祉ネットワークを配置し、潜在化して表出しにくい住民や地域のニーズについて関係機関や住民等と一緒に、解決に向けて取り組んだ。

(1) 共同募金運動の推進（平成 28 年 10 月 1 日～12 月 31 日）

①赤い羽根共同募金

社会福祉施設や生活地域の身近な福祉の向上を目的として、赤い羽根共同募金活動を実施した。

募金実績額 7,372,715 円、福祉事業費配分額 4,850,000 円

実施主体 東灘区共同募金委員会、婦人会、自治会、地区民児協、学校園、企業、職域等

種別		配分内訳	金額（円）
高齢者	生活支援事業	介護者リフレッシュ事業	130,000
	社会参加事業	老人クラブ連合会	160,000
	総合福祉的事業	手作りカレンダー事業	570,000
障がい児・者	生活支援事業	車いすバンク運営助成	129,000
	社会参加事業	障害者五団体作品展	50,000
		肢体障害者福祉協会	60,000
		聴力言語障害者福祉協会	60,000
		重心父母の会	60,000
手をつなぐ育成会	60,000		
青児少年・	社会参加事業	少年団野球リーグ	60,000
	総合福祉的事業	青少年育成協議会	200,000
		子ども会連合会	120,000
住民全般	社会参加事業	体育協会	60,000
	総合福祉的事業	保護司会	145,000
		遺族会	100,000
		更生保護女性会	55,000
		婦人会	170,000
		民生委員児童委員協議会	400,000
		区社協広報誌「omusubi」	1,024,000
		共同募金活動	915,000
ふれあいフェスタ	322,000		
合 計			4,850,000

②期間拡大募金

新しい取り組みで1月から3月「子どもの居場所づくり」支援を目的としたテーマ型募金を実施した。

募金実績額 423,232 円 配分は今年度、公募助成を実施する予定

③歳末たすけあい募金運動

東灘区連合婦人会のご協力のもと住民の理解や参加を求めながら実施した。

募金実績額 6,242,457 円、配分額 5,217,000 円（148 件）

実施主体 東灘区連合婦人会

配分先	件数	金額（円）	配分先	件数	金額（円）
ねたきり高齢者	42	252,000	デイサービス事業 グループ	19	1,180,000
交通遺児	15	150,000	乳児院・養護施設	3	150,000
福祉団体	6	360,000	子育てコミュニテ ィ事業	10	405,000
障がい者福祉サ ービス事業所	12	710,000	民設学童保育所	8	240,000
ふれあい給食 グループ	18	1,140,000			
ふれあいのまち づくり協議会	16	630,000			
			合計	148	5,217,000

（２）地域福祉ネットワーク事業

①潜在化して表出しにくい住民や地域のニーズが集まる仕組みづくり

ふれあいのまちづくり協議会や民生委員児童委員協議会でくらし支援窓口や地域福祉ネットワーク事業の説明を行ったことにより、相談が入るようになった。

②個人の課題からみえてくる個人や世帯支援のためのネットワークづくり（行政・専門職・地域住民等）

子ども家庭支援課や保護課、専門職、医療関係者と世帯支援会議を重ね地域の居場所（えんがわ含む）での活動につなげるネットワークを構築した。

③福祉課題に対応する担い手づくり

「よりそいボランティア講座」を実施し、障害理解と地域住民としてのサポートの仕方を学ぶ機会を設けた。

④くらし支援窓口との連携

くらし支援窓口での相談者に対し、アウトリーチを行い、地域での支援や見守りへの移行のための調整を行った。（延べ件数 176件）

また、くらし支援窓口が開催する「支援調整会議」に出席し、生活困窮者に対する支援の状況等について協議を行った。（出席回数 12回）

（３）地域のお財“えんがわ”プロジェクト（区の予算）

地域や社会とのつながりが稀薄な人と地域社会をつなぐ緩やかな居場所づくりを空き店舗と空き家を借り、シニア世代や地域住民（団体）、大学生等が担い手の中心となり活動できるよう支援した。また、地域福祉ネットワークや保健師が関わった個別ケースの方が地域の人と関わりを持ったり、役割を持つ場となっている。

（４）ほっとかへんネット東灘への参画

住民に身近な市区町において、地域福祉関係者と連携して、地域の様々な福祉

ニーズに対応する社会福祉法人の地域公益事業をすすめるため、「社会福祉法人連絡協議会」（愛称：ほっとかへんネット東灘）を平成 27 年度に設立し、本会が事務局を担っている。（区内 33 法人が参画）

<平成 28 年度>

①第 1 回全体会

開催日 平成 28 年 9 月 23 日 参加人数 41 名
 内容 1. 「社会福祉法人制度改革における地域貢献事業について」
 社会福祉法人連絡協議会 地域福祉推進会議 委員 大和田順氏
 2. グループワーク「地域を知ろう！」～地域課題の抽出・共有～

②第 2 回全体会

開催日 平成 29 年 2 月 13 日 参加人数 63 名
 内容 1. 「災害発生時に社会福祉施設管理者・職員に求められることは？」
 同志社大学 社会学部 教授 立木茂雄氏
 2. グループワーク「地域の防災を知ろう！」

(5) 善意銀行等の運営

種別	寄付／払出金額、件数等
善意銀行 (金銭口座)	寄付 674,090 円(27 件)／払出 534,882 円(24 件)

- ・中藤忠夫児童福祉基金
 運用(利金・利息) 1,160,009 円、残高 81,105,939 円
- ・小地域支え合い基金 ※平成 28 年度新設
 残高(利息) 7,351,993 円

(6) 民生委員児童委員活動の支援

- ・指定地区民生委員児童委員協議会事業助成
- ・心配ごと相談所の運営
 第 2・4 水曜日開催、実施回数 23 回

(7) 生活福祉資金貸付（援護活動の推進）

- ・相談件数 延べ 674 件（一般・総合）
- ・資金種別貸付実績

資金種類	件数	貸付決定額（円）
教育支援資金（教育支援費・支度費）	21	14,477,200
教育支援資金（就学支援費のみ）	0	0
教育支援資金（就学支度費のみ）	0	0
福祉資金（その他、転宅費等）	5	465,000
一般資金 合計	26	14,942,200
総合支援資金	3	420,000

- (8) ひがしなだふれあいフェスタ 2016～東灘区保健・福祉・医療フェア～
 保健・福祉・医療に関わる地域団体等が一堂に集まり、模擬店やアトラクションなどを開催し、相互の交流を図るとともに、福祉のまちづくりの推進の契機とした。
 開催日 平成 28 年 11 月 3 日 (木・祝)、場所 住吉公園
 参加者 約 4,000 名、参加団体 37 団体、ステージ出演 13 団体

- (9) その他福祉団体等活動支援
- ・各種福祉団体等への協賛
 - ・「うはらの守り賞」助成
 - ・東灘市民放水大会への助成

- (10) 広報・啓発活動の推進
- ・区社協ホームページ (<http://www.higashinada-syakyo.or.jp/>) 運営
 - ・区社協だより「omusubi」発行 108,000 部×年 1 回 (3 月)
 - ・ボランティアセンターメールマガジン配信 (講座案内、ボランティア募集などのボランティア情報を随時)

5. ボランティア活動の推進のために 【決算額 4,458,198 円】

地域福祉の向上に向け、ボランティアに関する理解を深めるとともに、ボランティア活動の推進を図るため各種事業を展開した。

- (1) ボランティアセンター運営管理 (総合相談・情報提供・需給調整)
- ①ボランティア活動申し込み状況
- ◇年間申込み (個人 55 件、団体 8 件)
- ・個人ボランティア登録数 253 人 (今年度の活動申込含む)
 - ・団体ボランティア登録数 161 団体(会員数 4,151 人)
- ②ボランティア依頼 (ニード) 申込状況
- ・年間申込み (個人 44 件、団体 435 件)
- ③その他相談・情報提供 (V 講座、助成金、保険、貸出、福祉全般等)
- ・年間 2,632 件
- (2) ボランティアルーム及び福祉機材等貸出し事業 (貸出利用状況/数字は延べ回数)
- ・年間 688 件 (印刷機、ボランティアルーム、紙芝居、研修用車いす、高齢者疑似体験グッズほか)
- (3) ボランティア講座の実施

名称	日程	回数	受講者数	延受講者数
手話入門ボランティア講座	H28.4~9	24 回	26 名	555 名
傾聴ボランティア養成講座	H28.8	4 回	19 名	89 名
レクリエーション力 パワーアップ講座	H28.9.5	1 回	58 名	—
高齢者施設ボランティア担当者 連絡会	H28.10.17	1 回	12 名	—
なかよしボランティア養成講座	H29.2~3	4 回	17 名	60 名

(4) ボランティアグループ運営助成

「東灘区ボランティアグループ運営費助成金」交付団体 13 団体 (1 団体 12,000 円)